

会 議 録 要 旨

会議名	令和4年度 第1回藤沢市下水道運営審議会	
開催日時	2022年（令和4年）4月25日（月）午前9時29分～午後0時20分	
開催場所	本庁舎5-1、5-2会議室	傍聴者数
		0人
出席者	会長	杉渕 武
	委員	齋藤 力良 野牧 喜久江 深澤 潤子 宮治 八千代 三輪 晋 矢出 乃大
	事務局	鈴木下水道部長 [下水道総務課] 近藤参事・指旗主幹・細谷主幹・藤原主幹・鈴木補佐・利根補佐 外山専任補佐・三澤上級主査・吉原専任上級主査 東嵩西主任・田中担当・茂垣担当 [下水道管路課] 中村課長・小松補佐・矢口補佐 [下水道施設課] 濱野参事・竹内辻堂浄化センター長・佐藤大清水浄化センター長 鷺塚補佐
議題及び公開・非公開の別	1 中期経営計画の策定について 2 下水道使用料のあり方について 3 社会資本総合整備計画の事後評価について その他 (すべて公開)	
非公開の理由		
審議等の概要	<p>《議題》</p> <p>1 中期経営計画の策定について 資料1-1～1-4に基づき説明。</p> <p>【質疑】</p> <p>(1) 資料1-1P17企業債の償還と残高について、償還はだんだん減っていき、借入も一時多くなるが全体的に減ってきているように思うが、残高をみると増えているのはなぜか。 《回答》 企業債は30年償還しており、償還のピークが終わり額が減ってきています。今後投資が増えることで償還額を上回る借入額となり、残高は増える見込みでございます。</p> <p>(2) 資料1-1P17国庫補助金は、補助対象になる事業が計画されているのか。 《回答》 P10資本的支出（投資計画）の建設改良費が増えることに伴い国庫補助金が該当する事業や起債が増えていく見込みでございます。</p> <p>(3) 資料1-3P8「健全経営に向けた財政基盤の強化」の効果指標がblankなのはなぜか。 《回答》 本日この後の審議で、経営方針、経営計画目標を具体的に審議いただき、その内容が決まり次第反映してまいります。</p> <p>(4) 資料1-3P1「効果的・効率的なストックマネジメント運用体制の構築」の効果指標の記述がないがどのように考えられているのか。 《回答》 お金や人の制約条件がある中、ストックマネジメントを効率的・効果的に進めていくため、民間活力の導入を検討しています。今後、導入することによりマネジメントへ変更していくことが効果と考えております。</p> <p>【意見】</p> <p>民間活力の積極導入による老朽化対策後の効果であれば、民間委託した事業によってどれだけ期間が短縮されたとか、対象範囲の増加など、新技術の導入によってより詳細がことが得られるなど、このようなことを想定した効果指標を考えられたほうがよいかと思います。</p>	

【意見】

効果指標は、具体的な活動をやった結果、どのような効果が得られたのかということだと思います。例えば7ページの大規模地震に備えた事前予防対策の導入と推進では、効果指標の教育訓練の実施回数だと活動指標だと思います。例えば実施したことにより職員意識の向上が図られたかとか、実際の災害時の対応の早さが効果に表れてくると思います。効果指標については少し工夫をしてお考えいただきたいと思います。全体の経営計画の事業実施と効果を見る上で参考になるのではないかと思います。

- (5) マンホールトイレシステムの調査・研究は、すでに調査研究という段階ではないのでは。5年かけて何を調査研究したのか具体的に教えてほしい。

《回答》

市の内部では防災部局と連携して検討委員会が立ち上がっていますので、一歩進んだ書き方を検討させていただきます。

- (6) 資料1-1P24③の流動比率では、現金の保有は他都市と比べて少ないが、④の企業債残高対事業規模比率では、企業債の発行は他都市と比べると少なく、事業規模に比べれば余裕があるという理解でよろしいか。

《回答》

お見込みのとおりです。

- (7) 資料1-1P24③の施設利用率について、藤沢市が63.3%で、同規模自治体が68.08%とあります。考え方として、処理能力の規模から指標の適正値はあるのでしょうか。

《回答》

施設設備の処理能力に対する1日平均処理水量の割合で、施設の利用状況や適正規模を判断する指標です。明確な数値基準はございませんが一般的には高い数値であることが望まれます。今ある数値をベースにし、雨天時のリスクを検証し施設に余力があるのか、あるいはありすぎる場合ダウンサイジングや施設縮小など検討する材料にしていきたいと考えております。

- (8) 資料1-1P24のグラフでオレンジの多角形が自治体平均値だがこれを基準にするのではなく、同規模自治体をベンチマークにするとか、藤沢市の独自基準で比較することや、あるいは収益的収支では財政基盤的に経費回収率だけでよいかと思えます。他自治体との比較をし合っているかどうかという議論はいかがか。

《回答》

8個の指標は全国一律の物差しのため、まず一つの目安にしています。今後、各指標の設定は中期経営計画のPDCAのチェックに当たりますので、独自指標をつくり現状を示したいと考えております。

- (9) 資料1-1P26の独自性の独自基準に1世帯当たり30万円以内にするのとあり、数字を見ると非常に健全経営でよいと思えますが、この指標について他都市や同規模自治体などの状況を整理しておいたほうがよい。独自基準を30万円に設定したのは健全経営を目標としているという理解はしますが、もう少し理論武装をしておいたほうがよいと思えます。

P24の施設利用率ですが、100%はあり得ないので、大雨や台風の時に合流式には雨水入るためなど説明を加えたほうがよいと思えます。

《回答》

今後数字を出す際は、他市町村との比較や根拠など、理論武装を固めていきたいと思えます。施設利用率につきましては、丁寧な説明を果たしていきたいと思っております。

【意見】

施設利用率は、合流式と分流式では施設整備の仕方が違うことからよく考えて比較をしたほうがよい。100%はあり得ないため無駄がなくできる限り施設を利用するよう計画をし、また他市との比較の際、整備手法の比較を行ったほうがよい。独自基準についても、類似団体比較を行ったほうがよいと思えます。

経費回収率を100%以上することは、使用料に関わってくるため非常に大事なところだと思います。どのように算定しているかを数字で分かりやすいようにしたほうがよいと思えます。経営目標の経費回収率100%以上としますというのは、市民の人たちに分かっていたら表や計算が分かったほうがよいと思えます。

<p>審議等の概要</p>	<p>《議題》</p> <p>2 下水道使用料のあり方について 資料 2-1、2-2 に基づき説明。</p> <p>(10) P8 令和元年と令和 2 年の件数を比べると急に減っているが、減った理由は何か。 《回答》 令和元年 7 月に減免制度の一部改正を行い、生活保護受給者の減免の廃止と母子父子世帯の減免に関する所得制限の設定を行いました。そのため件数が減っております。</p> <p>(11) 資料 2-2 にさまざまなケースが議論されていますが、市民の方が一番関心があるのはモデル的な家庭で、今の料金からどのように変わるのかろいったデータがありますか。 《回答》 一般家庭の場合、月 20 立米を標準的な世帯と捉えており、世帯員が 3～4 人規模で考えております。資料赤枠のとおり、現行月当たり 2,003 円で、改定後は 2,258 円から 2,332 円の間金額が変わると考えております。</p> <p>(12) 月 20 立米以下の家庭というのは全体の何%ぐらいを占めるのか。 《回答》 資料 2-1P15 図 4 のグレーの箇所が 16 から 20 立米の幅になっております。オレンジや青色になりますと、それより低い利用者の方となり件数としては多くなっております。</p> <p>【意見】 市民の方が一番関心が高いことろだと思いますのでもう少し説明資料がいる気がします。</p> <p>(13) 浴場汚水は市内に 3 件あり、その銭湯の必要性は生活に必要な銭湯なのか、下水道使用料が上がることで銭湯の利用料が高くなり利用できなくなったり、使用料を上げることで生活が苦しくなることがあるのか。 《回答》 銭湯は物価統制令に基づいて料金が決定されておりますので、下水道使用料が上がっても料金改定はできません。利用者についてですが、今はほとんどの家庭でお風呂がある状況ではございますが、自宅にあっても銭湯を使われる方もいらっしゃいますし、実際にお風呂がない家庭もございますので、必要性というのは私どもでは何とも答えられない状況です。</p> <p>《議題》</p> <p>3 社会資本総合整備計画の事後評価について 資料 3、3-1、3-2 に基づき説明。 5 月上旬を目途にホームページに掲載予定。</p>
<p>その他</p>	<p>(1) ふじさわ下水道ビジョンのパブリックコメントについて 参考資料 1-1、1-2 に基づき説明</p> <p>(2) 令和 4 年度下水道 PR 事業について 参考資料 2 に基づき説明</p> <p>(3) 令和 4 年度藤沢市下水道運営審議会日程について 参考資料 3 に基づき説明</p> <p>(4) 令和 4 年度藤沢市下水道事業運営について 参考資料 4 に基づき説明</p> <p>【質疑】 雨水滞水池を建設されたとありますが、これを造ったことにより辻堂幹線の合流改善の水量がどれだけ減ったかという数字があれば教えてください。 《回答》 雨水滞水池は、辻堂南部の雨天時の汚濁負荷量が多いことから、辻堂浄化センターの中で一時滞水池にため込み、晴天時に高級処理をして川に流す設備でございます。放流量につきましては、次回回答いたします。</p> <p>【意見】 資料 3-2P1 の合流式下水道改善率があり、現実的にどれだけ合流改善ができたかを、水量比で示したほうが現実的ではないかと思えます。</p>